

自己評価結果等の公表にかかる届出書

令和 8 年 5 月 13 日

所在地 長崎県南島原市深江町戊3148番地9

法人名 社会福祉法人コスモス会

代表者 理事長 本田利峰

1 事業所情報

事業所名	たすかる早崎					
事業所番号	4251300150					
事業の種別	<input type="checkbox"/>	児童発達支援	指定年月日	年	月	日
	<input checked="" type="checkbox"/>	放課後等デイサービス	指定年月日	令和 3 年	4 月	1 日
所在地	長崎県南島原市口之津町乙2240-1					

2 公表状況

公表日	《児童発達支援》 年 月 日				
	《放課後等デイサービス等》 令和 8 年 5 月 20 日				
公表方法	《児童発達支援》				
	<input type="checkbox"/>	ホームページ掲載 (URL)			
	<input type="checkbox"/>	会報等に掲載し配布 (会報等の名称)			
	<input type="checkbox"/>	その他 (具体的な方法)			
	《放課後等デイサービス》				
	<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ掲載 (URL https://sfhcosmos.wixsite.com/fdaych)			
	<input type="checkbox"/>	会報等に掲載し配布 (会報等の名称)			
<input type="checkbox"/>	その他 (具体的な方法)				
公表内容	各サービスの自己評価結果及び保護者結果を添付すること。 ※会報や事業所掲示の場合、会報の写し、掲示場所の写真などの公表方法が具体的にわかる資料を併せて添付してください。				

担当者名 小林 芙美
連絡先電話番号 0957-86-5567

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	たすかる早崎		
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月2日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所内に感覚運動室があり、個々のニーズに対応した支援を提供しております。	安心して気持ちを落ち着かせることができる環境を整えることで、ストレスや不安の軽減につながり、活動へ取組みやすい状況を作っています。	作業療法士の資格をもったスタッフを中心に専門的な知識や技術の共有を行いながら、より質の高い支援の提供に努めています。
2	作業療法士・保育士・教員免許などの資格や、さまざまな経験を持つスタッフが在籍しており、多角的な視点から支援を行うことができます。	スタッフ同士で利用児の様子や支援方法について意見交換を行い、課題を共有しながらより適切な支援につなげています。	更なる専門性の向上を目指し、外部研修や勉強会への参加を積極的に行い、個々のスキルアップに努めています。
3	学校との連携を大切にし、学習面や社会生活において一貫した支援を行うことができます。	学校の先生方と情報交換を行い、利用児一人ひとりの状況に応じた支援方法を柔軟に調整しています。また、学校での様子や課題を踏まえ事業所での支援内容にも反映させています。	学校での学習や生活の様子をより丁寧に共有し、支援の一貫性を高めることで、利用児の成長をより効果的に支えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安全対策や各種マニュアル整備、研修は実施しておりますが、保護者への周知が十分でない部分がありました。	周知方法が広報誌等の配布や連絡帳などに偏っており、重要な情報が十分に伝わりにくい状況にあると考えられます。	書面や連絡帳での発信だけでなく、SNSなどの媒体も併用し、各家庭の状況に応じて情報が届きやすい環境を整えていきます。
2	保護者会は実施していますが、参加者が限られる傾向にあります。より多くの保護者の方にご参加いただけるよう、周知方法や内容の工夫が必要です。	共働き世帯や多忙なご家庭にとっては時間の確保が難しく、結果として参加者が限られていることが考えられます。更に、内容や目的を含めた企画・立案が十分に整理されていないことも、参加状況に影響していると考えられます。	開催日時や形態を見直し、きょうだい児・利用児・保護者が一緒に交流出来るような形での開催を検討し、より多くの方が参加しやすい形を目指してまいります。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 たすかる早崎

公表日 令和 8年 3月 2日

利用児童数 20名

回収数 14件

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	十分だと思います。	今後も自由に安全に動けるように、安全対策をしっかりと行っています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	86%	14%	0%	0%	今でも十分に丁寧に見ていただいています。利用者数を考えると少ないのかなと感じます。	定員に対するスタッフの配置を行い、当日の利用者人数や特性によっては、通常より多く配置し安全に努めています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	張り紙など子ども達にわかりやすく張られていると思います。	日々の活動の流れを理解しやすいように視覚的なスケジュールを掲示し、予測ができる環境を作っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	いつも綺麗にしてあります。	クールダウンできる場所を設けたり、机上課題に集中できるようにパーテーションを立てたりして工夫をしています。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	92%	8%	0%	0%	子どものことをよく理解してくださっていると感じます。	今後も一人一人のニーズや特性を理解し、それに応じた支援を行い効果的な支援につなげられるよう努めています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	とても充実した内容だと思う。	今後も利用児の特性に応じた支援を強化し、一人ひとりの成長をサポートしていきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	子どものことをよく見て、課題や目標を考えてくださっていると思います。	今後も、それぞれが抱える課題やニーズに応じて個別支援計画を作成していきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	設定されていると思います。	保護者との連携やフィードバックの機会も盛り込み、保護者の意見や家庭の様子を反映させながら、効果的な支援を提供していきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	実践してもらっていると思います。	今後も質の維持、質の向上を心がけていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	土曜日や夏休みは特に、色々な行事を計画してくださって、感謝しています。	今後も日々工夫しながら活動していきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	64%	14%	8%	14%	食改さんとの調理体験や図書館のイベントなどに参加させてもらっています。	今後も情報感度を高め、積極的に地域の行事に参加しようと考えています。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%	・わかりやすかったです。 ・丁寧でした。	新規契約時に説明をさせていただいています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%	丁寧に説明していただきました。	年に2回の面談の際に説明をさせていただいています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	100%	0%	0%	0%	研修会の案内をいただきました。	内容によって、全体または個別で情報提供させていただいています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	100%	0%	0%	0%	随時報告していただいて安心している。	保護者をはじめ、学校とも利用児の状況について共通理解ができています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%	0%	0%	0%	・家での困り事に丁寧アドバイスをいただいています。	連絡ノートや送迎時になどご相談下さった時は、具体的なアドバイスや助言を行い保護者様もサポートしております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	こどもと両親ともとても満足している。	安心して預けていただけるように利用児や保護者の立場に寄り添い信頼関係を今後も深めていきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	86%	14%	0%	0%	保護者会では、同じような特性の子をもつ他の保護者さんとお話しでき、良い機会をいただきました。	今年度の保護者会では、例年以上に多くの方にご参加いただきました。また来年度も保護者様同士の交流やご家族への支援も含め、機会を設けていきます。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	93%	7%	0%	0%	すぐに対応していただきました。	利用時一人一人のニーズを正確に把握し、特性や状況に応じた支援を行っています。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	93%	7%	0%	0%	その日の出来事をLINEや送迎時に話してくださり、場合によっては個室で話をしてくださります。	利用児の様子等、情報共有しておきたいことは、その都度個別に対応をさせていただいております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	93%	0%	7%	0%	広報誌では子どもの楽しそうな姿を知ることができ、嬉しいです。	2ヶ月に一度広報誌を発行しております。天候や行事予定などの連絡も積極的にSNSを使用しております。支援プログラム・評価表につきましてはホームページに掲載しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	写真の取り扱いについて確認をしています。	写真掲載における同意書を作成し、使用目的や範囲、取り扱いの仕方について説明を行っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	79%	7%	0%	14%	わかりません	マニュアルを策定し、事業所内に掲示しております。訓練を行った際にも、都度情報発信していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	86%	0%	0%	14%	避難訓練をされています。	事業所では安全計画に基づき、自然災害を想定した訓練や消防訓練を行っています。今後も継続し、保護者様にもお伝えしていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	86%	0%	0%	14%	安全にはいつも気をつけてくださっています。	事業所では安全計画の年間プログラムを作成しております。今後は保護者にも周知できるように掲示していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	86%	0%	0%	14%	ケガや体調不良など、何かあったら連絡をいただいています。	事故怪我が無いよう十分に努めますが、万が一の際には速やかに連絡し、説明を行います。そして再発防止に努めていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%	喜んで行ってくれるので、親も安心して預けられます。	今後も楽しく安心して過ごせる場所であるようにスタッフ一同努めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%	0%	0%	0%	・毎日楽しみにしています。 ・家でも楽しかったことを話しています。	利用児や保護者の気持ちを大切に、将来に役立つ力が身に付くように療育を行っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%	・大変満足しています。 ・いつもありがとうございます。	保護者のあたたかい言葉がスタッフのモチベーションになっております。今後もニーズに答えながら楽しく身につける活動・支援を行っていききたいと思っております。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	たすかる早崎		公表日 令和 8年 3月 2日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・パーテーションなどで区切り、個別スペースを確保しています。 ・十分に活動できるスペースは確保しています。	基本的な機能は安定して活用していますが、今後はよりスペースを活かす工夫を重ねていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・適切に配置しております。利用児に合わせ個別支援を行えるよう基準より多く職員配置しております。	できる限り手厚い支援を行うために、スタッフの個々のスキルを伸ばしていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	・視覚的支援を活用し、利用する子どもたちが分かりやすい構造を敷いています。また、障害特性に配慮し、エレベーターなどの設備を適切に利用しています。	安全確保と環境整備を両立させ、共有しながら改善を進めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・毎日清潔を心がけ、利用する子どもたちに合わせた空間づくりを工夫しています。また、使用後の玩具は丁寧に消毒を行い、衛生管理を徹底しています。	定期的に換気を行いながら室内環境の維持に努めています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・机上課題では集中できるような個別のスペースを確保しています。 ・部屋の隅にリラックスマームを設け、クールダウンやリラクセスができるようにしています。 ・着替えなどの際は個室への誘導を行っています。	必要に応じて使用・対応できる個室はありますが、完全に死角スペースになりますのでスタッフ間で気を配りながら対応しています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・全職員で参加し、その日の反省やモニタリング、策定会議を行っています。	さらなる支援の質の向上を目指し、情報交換、チームでの連携をさらに強化し支援の質を高めていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・結果を参考にし、より良い支援につなげています。	いただいた評価をより良いものにできるようにスタッフ全員で共有しています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・職員同士で意見を出し合える関係を築いています。 ・意見を出し合う場を設けることで、より意見が出し合えています。	今後もより良い支援につなげるように雰囲気作りを大切にしていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	・今年度は行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・月に1回所内研修を行っています。 ・外部研修も自主的に参加しています。 ・研修に参加できなかった職員にも伝達研修を行っています。	今後も多種多様な障害特性の技術・知識向上に積極的に参加していきます。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	・ホームページで公開しております。 ・職員会議を意見を出し合い支援内容を決定しています。	ホームページで公開しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	・丁寧に話し合い、アセスメントを行っています。 ・医療機関等のご意見や検査結果なども参考にさせて頂き、ご本人や保護者さんのニーズに沿った計画を立てるよう努めています。	これまで情報共有や話し合いの時間を確保しておりますが、今後も継続的に行っていきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・全職員で話し合い、計画を作成を行っています。 ・職員間の共通理解は日々丁寧に行われています。	今後も全スタッフが意見を出し合い、利用児の状態に合わせた個別支援計画が作成できるように丁寧な会議を行っています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・非常勤の職員にも申し送り表なども活用を行って共有を行っています。	継続して、今取り組んでいる内容にを維持していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・特記事項は日々の記録に加えて別紙で丁寧に記録を行っています。 ・日々細やかに観察し、記録を行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	・ねらいや支援内容を踏まえて、利用児に必要な支援を考え、適切に設定しています。 ・必要な支援が変更した際にはすぐに項目についての検討も行っています。	今後も、利用児の変化に柔軟に対応をし、支援内容や活動内容の見直しを定期的に行っていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・職員会議で意見を出し合い、療育内容を検討・決定しています。	今後も、様々な経験をもったスタッフと幅広い目線で個々に合った支援内容を検討していきます。

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・職員会議で意見を出し合い、療育内容を検討・決定しています。	活動プログラムを固定化して安定を図っている利用児もいらっしゃいます。個々のニーズに合わせて多様に取り組んでいます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・利用児の状況を細かく観察し、その日の様子などに合わせて、個別・集団の時間を調整しながら、丁寧な支援を行っています。	集団活動でも各児のレベルに応じた対応をしています。今後も集団活動の中でも適切なサポートを提供し、無理なく参加できるように配慮していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・毎回打ち合わせを行い、当日の流れや支援の担当などの詳細を確認しています。 ・前日や前回の引継ぎも毎回行っております。	正規スタッフ・パートスタッフの出動時間が異なるため、短時間での打ち合わせになっていますが、その中でもしっかりと細かな内容を確認できています。今後も継続していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	100%	0%	・毎回支援後の反省会を行い、利用者さんの様子を共有したり支援内容の振り返り、今後の対応などについて話し合っています。	その日の反省を次に繋げられるような話し合いが行えていて出動していないスタッフにもしっかりと共有するように努めています。今後も継続していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・個別の記録を行っております。 ・特記事項がある際には別紙にてさらに詳細に記録しております。	経過記録して残しております。周知したい記録にはマーク付けをし、特記事項があった際には別紙に残しております。今後も継続していきます。
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・定期的なモニタリングを行っております。 ・目標を達成したときや、新たな課題が出てきたときなど、適宜見直しを行っております。	今後も半年に一回、支援計画のモニタリングを行ってまいります。必要性に応じて見直しを行い支援するように努めています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	・職員間で活動を話し合い、ガイドラインに沿っているか確認を行っています。	ひとり一人の特性に合わせてどう組み合わせを行うかどう進めていくか目的に応じた柔軟な対応を行っています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	・意思表出が難しい児にも、選択ができるようカードなどの視覚支援を用いて選択できる場面を設定しています。	支援の中で子どもに選択肢を与える場面が少ないので、今後、利用児の好みに合わせて選択できる場面を作っていきます
	関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	・対象利用児のことを全職員が理解するよう努めています。 ・さらにより理解が深い者が会議に参加しています。
27		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	・医療機関とも必要に応じて連携を行っています。 ・卒業した園や学校、在学、就学予定校との連携をとるよう心掛けています。	医療機関に情報提供を作成したり、学校との日々のやり取りの中で信頼関係を築かせていただいています。今後も継続していきます。
28		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	・各学校の送迎時に先生方とコミュニケーションをとり、確認事項や情報共有に努めています。	多数の学校を同時送迎する日は、時間が送れるなどのご迷惑をおかけすることがあります。しっかりと見直しを行い改善していきます。
29		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	・必要に応じて卒園した園や児童発達支援を利用していた事業所と連携をとっております。	必要に応じて情報共有しています。今後も継続して連携に努めます。
30		学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	・本事業所から他事業所に移る場合は、情報提供を行っています。	今後も丁寧な情報提供を行っています。
31		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%	・専門機関主催の研修等に積極的に参加しています。	今後もスタッフのさらなるスキル向上や支援の質を高めるため、積極的に参加していきます。
32		放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	・図書館イベントなど地域の行事に積極的に参加し、地域の子どもたちと一緒に過ごす機会を設けています。	地域の他の子どもと接する機会が多くはありませんが、積極的に今後もイベントに参加し交流できる機会を作っていきます。
33		（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	・積極的に参加しております。参加していないスタッフにも伝達研修を行っています。	今後も参加できるスタッフが積極的に参加していきます。
34		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・お迎え時などに事業所であったことなどを適宜伝えております。また、ご家庭での様子も教えていただき、共通理解を行っています。	その都度お伝えするようにしています。今後もきめ細かな支援が提供できるように連携に努めていきます。
35		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	・ペアレントメンターさんをお招きして保護者会を開催し、お子さんの対応について相談したり学ぶ機会を設けました。	ペアトレは現在実施していませんが、ペアレントメンターさんを招いて一緒に学ぶ機会を設けております。保護者様にも毎回良い評価をいただいております。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・契約時に加え、定期的な面談を行った際に丁寧な説明をおこなっています。	契約時や保護者面談の時、送迎や連絡ノートで説明を行っています。今後も継続していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・目標を立てる際や目標を変更する際に、利用児や保護者と話し合って支援計画を作成しております。	利用児や保護者の意向を尊重し、今後もコミュニケーションを深めながら質の良い支援が提供できるようにしていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	・「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、必ず保護者の同意を頂いています。	必ず説明を行い同意を頂いております。今後も継続していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・保護者からの相談の内容に応じて対応を行っています。 ・学校や家庭で大きなトラブルがあったと相談された際には速やかに個別面談を行いました。	十分に対応させていただいておりますが、今後は全スタッフが細かな対応ができるようにスキルアップを目指していきます。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	・保護者会を行って、保護者同士の横のつながりを築いたり、情報交換、交流ができる機会を設けています。	今後長期休みなどを利用して、兄弟児も参加できるイベントを企画していこうと考えています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・職員間で迅速な共有・協議・対応を心がけています。 ・現在苦情はありません。	現在苦情はありませんが、利用児や保護者への伝達は必要に応じて行っていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・2か月に1回広報誌を発行しております。 ・広報誌に掲載できない児は保護者の許可を頂いて事業所内で写真を掲載しております。	今後は活動時の写真だけでなく、その活動のねらいなども詳しく伝えていきたいと考えています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・写真掲載における同意書を作成し、使用目的や範囲、取り扱いの仕方について説明を行っています。	戸外活動先で写真撮影が行われる場合もあるので、十分に気を配っております。今後も十分に注意していきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・配慮が必要な家庭には個別に対応し、コミュニケーションをとっています。	重要なお知らせは直接お伝えしたり、書面で説明を行っております。今後も継続していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	・地域の行事に参加し、交流を図っています。 ・年に数回食生活改善推進員の方と調理体験を行ったり、散歩に出かけ地域の方と触れ合っています。	今後も地域の行事に積極的に参加し障害特性をもった児に理解をしていただきながら、新しい交流の場を模索していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・各マニュアルを作成し、定期的に見直しや内容の確認を行っています。事業所内に掲示をし、いつでも閲覧できるようにしています。	各マニュアルは作成し定期的に防災訓練を行っており、スタッフ間では周知できていますが、保護者に周知が不十分でした。今後掲示するなどして周知していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	・BCPを策定しています。月に1回、地震や火事等の避難訓練を行っています。	事業所内でBCPの研修を行っています。今後もしもの時に備えBCPの確認見直しを図っていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	・服薬欄に記入していただいたり、服薬説明書を持って来て確認をしています。 ・てんかん発作に変化があった時は動画を撮り保護者様に伝えていきます。	いつもと違う発作等の時は動画を撮るに全スタッフで共通理解していますが、安全面を考えると余裕がない事があります。スタッフ間で連携をとりあって改善していきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	・食物アレルギー対応表をお預かりし、事業所での対応を保護者と話し合っております。	外食体験時には事前にメニューを決めて保護者と一緒に確認をとりました。今後も継続して対応していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	・安全計画を作成しており、それに沿って研修や訓練を行っております。	十分に行われている場合でも、リスクアセスメントの見直しのスタッフの意識向上を強化していきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	・取り組み内容について連絡帳や広報誌などで開示しております。	安全計画に基づいた取組の内容を周知することは信頼関係を築く上でも重要になりますので、今後も家族と協力しながら安全確保に努め、質の向上を高めていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・ヒヤリハット事例があった場合は、スタッフ間で情報共有して検証し、再発防止に努めています。	今後も事例を共有し、再発防止策を考え、スタッフの対応力強化に繋がります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・虐待防止について毎月研修を行っております。	毎月一度事業所や所内で研修を行っていますが、活動のフィードバックを今後も十分に行っていきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	・虐待防止の研修の中で身体拘束についても取り上げて共通認識をおこなっております。 ・契約やモニタリングの際に説明し、同意を得て、計画に記載しております。	しっかりと説明を行い、個別支援計画書にも記載しております。今後も引き続き説明を行っていきます。	